



虎の門病院 本院
〒105-8470 東京都港区虎ノ門二丁目2番2号
(03)3588-1111(代)

虎の門病院 分院
〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷一丁目3番1号
(044)877-5111(代)

詳しくは虎の門病院ホームページまたは公式Instagramへ <https://www.kkr.or.jp/hospital/toranomon/>



理念

PHILOSOPHY

生命、人間としての尊厳及び権利を尊重することを基本とし、病院の持つ理念、機能に基づいて、患者さん並びに健康上のニーズにより当院を訪れた人々に、より良い看護ケアを提供すること

『より良い』ということの意味

- 1) 自分たちの看護能力(知識・技能・判断力)を高める努力
 - 2) 限りある諸資源(人的、物的、金銭的、時間等々)をいかに有効に活用するかという努力
 - 3) 部内、及び他部門との協調的努力
- 以上のような努力により、少しでも良いと考えられる看護を提供すること

目的

PURPOSE

1. 患者さんに24時間、安全で、より良い看護を提供したい
2. 患者さんには公平な看護を提供したい、看護師には業務量が公平になるようにしたい

目標

GOAL

1. 患者さんに適切な看護を提供する
2. 可能な限り、高水準の看護を志向する
3. 諸資源の有効な活用に努める
4. 他部門との協調を図る
5. 看護職員の教育・研究活動を推進する
6. 看護の発展に寄与する



CONTENTS INDEX

02. 看護部理念
04. 副院長・看護部長メッセージ
05. 虎の門病院の6つの特長
06. 教育・研修体制 概要
07. 新人看護師の年間スケジュール
08. 看護継続教育とキャリアラダー
10. プライマリ・ナーシング
11. チーム医療
12. スペシャリスト
13. 福利厚生
14. 採用情報
15. 交通アクセス

MESSAGE

副院長・看護部長メッセージ

「倫理観を備えた 自律した看護師」を 目指して

虎の門病院
副院長・看護部長
若本 恵子



副院長・看護部長として、看護部は主体性をもって時代のニーズに適応していく組織であり、生き生きと躍動感のある部門でありたいと考えています。積極的に仕事に取り組み、新しいことに挑戦する「発信する看護部」を目指しています。

人口動態が超高齢多死社会へ向かい、疾病構造が変わり、社会生活や個人としての多様性が拡がり続ける時代において、医療・看護の重要性は益々高まり、そのあり方もまた変化し続けています。そのような社会で、医療者として、看護師としてどのような役割を果たしていくかを、自ら考え判断し行動していける人材を育成していきたいと考えています。

看護師は病院のあらゆる部門、すべての職種と直接的協働、連携をしている唯一の存在だと思います。何故なら看護師は、患者さんを生活者として捉え、その方らしく生きることを支援する役割があるからです。その方の問題に応じて、病院内の各専門家が専門的な介入をすることに対して、必要な介助や支援、調整

などを継続的に行っているのです。患者さんを健康問題という側面だけではなく、社会生活を営む固有の存在として深く理解することができてこそ、この役割が果たせると考えています。しかし、多くの患者さんに対応していく中で、多様な個性を認め、その方らしさを大切にすることというのは、時に大変な困難を伴うこともあります。迷いや混乱の中、医療者として看護師として何をすべきかを判断する際の拠り所は、人を尊重し、その方にとっての最善を考える倫理観だと思います。

そのためには、看護師としてのアイデンティティを確立し、患者さん中心の看護が実践できる看護師の育成が必要です。当院では、卒後教育の重要性にいち早く注目し独立した看護教育部を45年以上運営してきた歴史があります。ひとりひとりの看護師が自ら学び続けるために、組織として支援する重要性を真に理解しているという自負も持っています。看護教育部が企画、運営しているプログラムは、座学の学習だけでなくとどまらず、今日の前にいる患者さんのケアに成果を発揮できる構成に

なっています。大事にしたいのは、単に学習するだけでなく、得た知識、技術を実践の場に適用させ、患者さんの抱える問題を少しでも解決に向けてすることで、患者さんに対して結果を出すことだと考えています。そのためには、真摯に患者さんと向き合い、看護師として何をすべきかを自ら考え行動できる自律性を持った人材を育成していきたいと考えています。

看護という仕事は、患者さんの人生に深く関わり、人間の身体的、精神的弱さや脆さに向き合う仕事です。しかし、それと同時に人間の持つ強さや、果てしない可能性、美しさ、素晴らしさ、尊さにも触れられる奥深い意義を持った仕事だと思っています。また、看護師である自分自身の価値観や生き方を、看護を通して深く見つめ直す機会が得られる仕事だと思っています。

看護師という職業を選択した皆さん、この意義深くやりがいのある看護と一緒に実践していきましょう。「自分の家族・最愛の人を安心して任せられる病院」で。



01/ プライマリ・ナーシング

患者さん中心の看護を実現するための看護方式。一人一人の患者さんの看護を、プライマリ・ナースが親身に、責任を持って展開し、患者さんへ質の高いケアや満足感をもたらしています。同時に、ナースの責任感や実践能力、職務満足度も向上します。

02/ 充実した院内教育プログラム

患者さんにより良い看護を提供できるよう看護教育部に専任のナースを配置し、経験学習理論を基盤とした院内教育プログラムを企画・実施しています。

03/ 適正な人員配置

患者さんには公平な看護を、ナースには公平な業務量を。この目的を達成するために、TNS(Toranomon Nursing System)というツールを使って各勤務帯、一日、週間、月間、さらには年間の人員配置を、綿密で客観的なデータに基づいて行っています。

04/ ラダーでステップアップ

看護実践を評価する臨床ラダー(JNAラダー)とキャリアラダー、またスペシャリストラダー、看護管理者のコンピテンシー・モデルを用いて、それぞれの役割に応じたステップアップを支援しています。ナース一人一人の頑張りが評価され、さらなる意欲につながる仕組みです。

05/ スペシャリストの相談・教育活動

専門看護師・認定看護師をはじめとしたスペシャリストが活動しており、各分野における質の高いケアを提供するとともに、現場での相談・教育活動を行っています。

06/ 多職種と協働連携したチーム医療

専門看護師・認定看護師等のスペシャリストを中心に、多職種と協働連携したチーム医療を行っています。部門や職種を超えたコミュニケーションが非常にスムーズな職場です。

新人看護師の年間スケジュール

1年目	
名称	時期
合同オリエンテーション	3月下旬
看護部オリエンテーション	4月初日
基本的看護技術Ⅰ春研修(入職時研修)	4月
ペアワーク	4月
基本的看護技術Ⅱ(輸血・人工呼吸器など)	4月～翌年2月
夏研修(医療安全・感染対策など)	6月～7月
秋研修(フィジカルアセスメントⅠなど)	9月～10月
部署でのフォローアップ	5月、7月、10月、翌年3月
情報交換会	夏研修・秋研修内
2年目	
2年目研修(フィジカルアセスメントⅡ・看護過程など)	6月～7月
他部署研修	6月～8月
新人コース 修了レポート作成	12月～翌年2月
3年目	
3年目リフレクション研修	9月



基本的看護技術Ⅰ春研修(入職時研修)



ペアワーク



夏研修



2年目研修

入職してから2年間の新人教育

新人コース

入職後の2年間は、全員が新人コースを受講。ゆっくり確実に技術や知識を身につけられる体制です。この2年間は、看護の基礎を固めるきめ細やかなプログラムを用意しているので、日常必須の看護援助技術を確実に身につけ、自信を持って提供できるようになります。特に4月のオリエンテーションや技術体験研修は時間をかけて丁寧に行っています。また、1年目の1、3、6、12カ月目には部署での新人フォローアップ、その他部署を越えて新人同士が集う情報交換会などが開かれ、悩みや不安を相談しやすい環境です。新人のメンタル面もしっかりとサポートしています。2年目には、看護過程や看護倫理など、日頃の看護を振り返り、看護観を深め、ナースとして成長できる教育プログラムが準備されています。

プリセプターシップ

年間を通してプリセプターが支援

3年以上のナースがプリセプターとして新人を支えます。またプリセプターのみならず、グループリーダー、チーフナースも含めたチーム全体で新人を育てます。

教育・研修体制

EDUCATION

院内教育で実力をしっかり付ける

成長を支える 手厚い プログラム

病気だけでなく、人をしっかりと見つめていく「患者さん中心の看護」を実践できるナースを育成するためのプログラムです。

新人看護師については、研修やテスト、プリセプターからのアドバイスなど、多方面から成長を支えます。

また、中堅ナースのキャリアアップも支えます。

EDUCATION

教育・研修体制

看護継続教育とキャリアラダー

教育理念

高い倫理観と誇りを持ち、患者中心の看護を追究する看護師を育成する。

当院の教育方針

- 自律性を重んじる教育によって、主体的に行動する看護師を育てる。
- 入職後2年間は、新人コースにより基礎(確実な知識と技術)を身につけられるよう支援する。
- 入職後3年目以降は看護師一人一人の成長に合ったプログラムを提供する。
- より良い看護実践に直結する教育プログラムを提供する。

キャリアラダーIIa 2019年度入職

2年間の新人教育プログラムは、一歩ずつ着実に看護師として成長できる大切な期間です。4月のオリエンテーションに始まり、技術体験研修や各部署でのフォローアップなどを通して、丁寧に基本技術を学ぶことができました。漫然とケアを実施するのではなく、事前に根拠や影響をしっかりと考え、自信を持って「患者さんのためになること」を提供できるようになったと感じています。

また、新人が抱えやすい悩みや不安を相談できる環境が整えられていたことは心強かったです。例えば、「情報交換会」は別の部署の同期とも再会し、日々の悩みやうれしかったことなどを共有する、とても心安らぐ時間でした。入職してしばらくは学生気分が抜けないこともありましたが、これから目指すべき看護師像を考えたり、プロとしての自覚や責任感を再確認したりしながら、同期の仲間と一緒に成長しています。



キャリアラダーIIb 2015年度入職

現在緩和ケアのリンクナースをしています。理由はもともと緩和ケアに興味があったこと、中堅看護師として部署の看護の力をもっと高めたいと思ったからです。私の病棟では急性期の患者さんもいらっしゃいますが、一方で終末期にある患者さんも多いです。緩和ケアのリンクナースとして得た知識や技術を所属する部署の看護師に伝えて、一緒に実践することが私の今の役割だと考えています。患者さんの苦痛を緩和できるような看護ができるよう役割を全うしたいと考えています。当院の看護提供方式は、患者さん一人ひとりに向き合って看護を提供する「プライマリ・ナーシング」です。昨年度、私はプライマリ・ナーシングの入門コースを受講し、患者中心の看護についてじっくり考えました。この学びによって患者さんの根底にあるニーズに寄り添うことの難しさと充実感を知り、今はとても看護が楽しいと感じています。

私が大切にしているのは、患者さんを生活者としてとらえることです。治療のために入院している患者さんの拠り所となることで、この病院で過ごす時間がつらい経験ではなく、病気と付き合っていく糧になればと思っています。

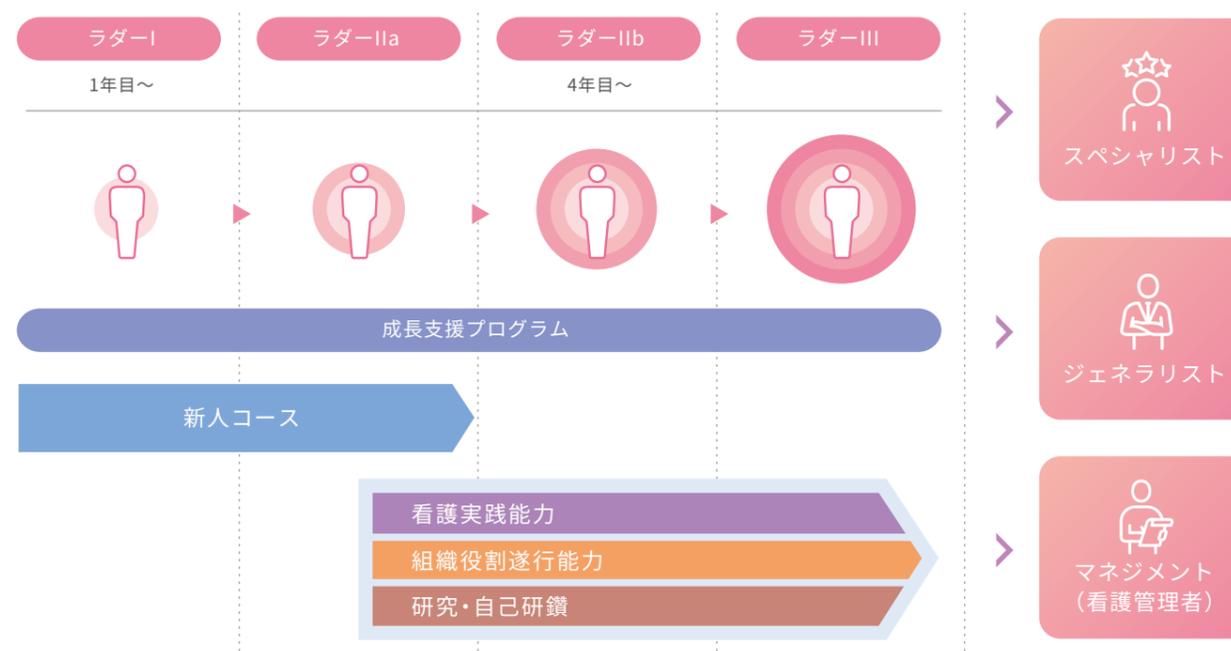


キャリアラダーの設計

はしご(ラダー)をのぼるよう着実にステップアップしていく仕組みです。このラダーによって自分の実践を自己点検し、強みや弱みを知ることで達成可能な目標を掲げることができます。その目標達成を支えるための支援として成長支援プログラムを用意しています。

各ラダーが上がる際にはポイントも必要であり、教育コースの受講や学会参加など自分のキャリアアップに向けて主体的に学習したことをポイントで評価し自律性を育成しています。ラダーIII以降はキャリアを選択できるようになっており、長期的な視野をもって看護師として豊かに成長できるような仕組みを整えています。

キャリアラダーの設計イメージ図



成長支援プログラム

看護師に求められる「看護実践能力、組織役割遂行能力、研究・自己研鑽」の3つを柱に、段階に応じて成長を支援するプログラムです。どのコースも経験学習理論を基盤とし、講義形式だけでなく、グループでの対話を通して経験を振り返り、気づきが得られるようプログラムされています。主要なプログラムには受講者1名に部署の先輩1名が援助者としてサポートします。

看護実践能力

- 新人コース
- プライマリ・ナーシング入門コース
- プライマリ・ナーシング中級コース
- プライマリ・ナーシング上級コース
- 倫理カンファレンス
- ナーシング・スキル

組織役割遂行能力

- プリセプターサポートプログラム
- CNジュニアコース
- マネジメントコース
- HNジュニアコース

研究・自己研鑽

- 専門分野勉強会講演会
- 研究指導
- 院内看護発表会

EDUCATION

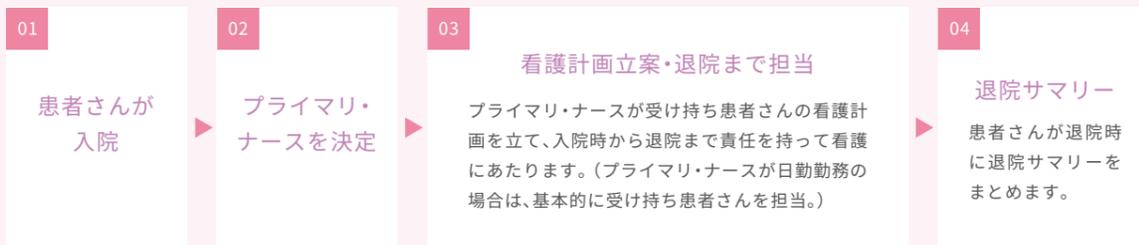
教育・研修体制

プライマリ・ナーシング

プライマリ・ナーシングとは

患者さん中心の看護を実現するための看護方式です。一人一人の患者さんの看護を、プライマリ・ナースが親身に、責任を持って展開し、患者さんへ質の高いケアを提供することを目指しています。

具体的運用方法 ～入院から退院までの流れ～



プライマリ・ナーシング教育

教育と実務、双方向から学んでいきます。

「患者さん中心の看護」を追求するために、一人の患者さんを一人のナースが、責任を持って看護展開するプライマリ・ナーシングを導入しています。プライマリ患者さんの看護計画、ケアの実施、評価を行い、患者さんを継続的にサポートします。自律性と責任感を持った看護を通して、患者さんのニーズを満たすと同時に、自己の看護観を深めます。



教育プログラム

当院では、自律してプライマリ・ナーシングを実践するための教育プログラムを用意しています。入職後2年間は新人コースの位置づけですが、1年目の後半から担当の患者さんを受け持ち、先輩の手厚いサポートを受けながらプライマリ・ナースとしてのケアを始めます。2年目は、看護過程の研修など本格的なプライマリ・ナーシングへの準備期間を設けています。1年目を整理し直すところから徐々に自力で、一人の患者さんの看護計画を立てられるようになっていきます。4年目からはさらにプライマリ・ナーシング入門・中級・上級コースを受講できます。一連の教育プログラムは、自分のペースで成長していけるよう配慮されています。

入門コース

プライマリ・ナースとしての基礎を学ぶ

プライマリ・ナーシング入門コースは、新人コースを修了した入職4年目以上のナースを対象とし、中堅ナースとして活躍するためのコースとなっています。グループワークを通じて、プライマリ・ナースとしての基礎を学びます。

中級コース

アソシエイト・ナースの役割を学ぶ

プライマリ・ナースの実践力を高めることに加えて、プライマリ・ナースが不在のときも看護が継続されていくようにアソシエイト・ナースとしての役割を学びます。プライマリ・ナーシングをチームで理想的な形に創り上げていく役割を担います。

上級コース

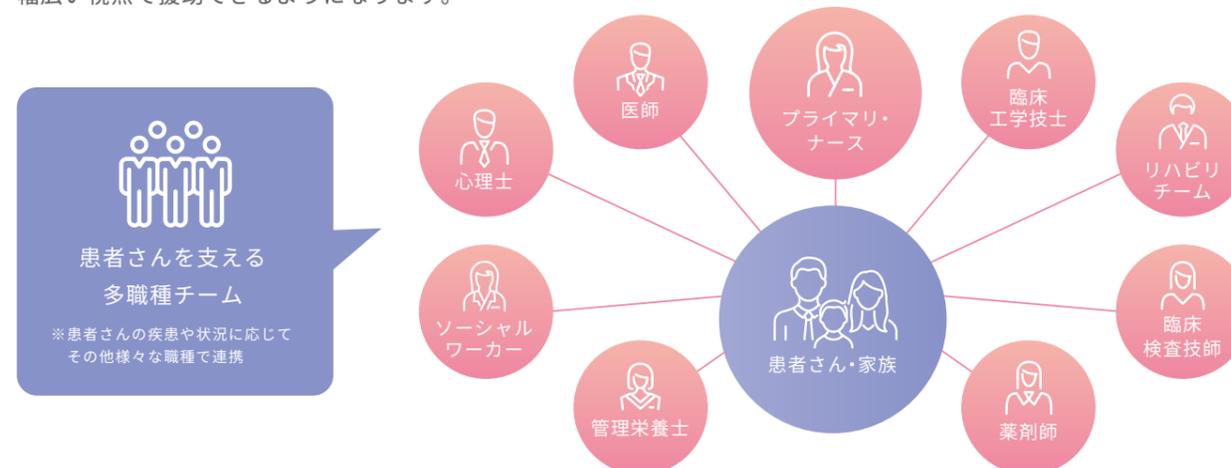
プライマリ・ナースの指導者を育成

入門コース・中級コースの指導者となり、プライマリ・ナースを育成するための知識や能力を身につけます。リーダーとして組織のプライマリ・ナーシングの充実と発展に貢献していくためのプログラムが組まれています。科学的な看護の視点を広げ、同時に自己の看護観を高めていきます。

チーム医療

チーム医療の目的

患者さんに高度な医療を安全かつ適切に提供できるようにするため、多職種のチームで関わるのは重要なことです。様々な職種が連携して一人の患者さんに関わることで、患者さんが外来から入院、そして退院して社会に戻る過程を、幅広い視点で援助できるようになります。



チーム医療の紹介

高齢者ケアチーム・認知症ケアチーム

高齢者の入院患者さんが安全に安心して治療を受けられるよう、高齢者総合診療部の医師やコメディカルと連携し、担当医師や看護師に助言をします。内服調整や環境調整、リハビリによって不要な身体拘束をなくしたり、転倒の予防や廃用性症候群の予防に努めたりしています。高齢者ケアリンクナースを各部署に任命し、老人看護専門看護師と看護管理者が中心となって、看護師に対して高齢者ケアについての教育や相談など取り組んでいます。

緩和ケアチーム(がんサポートチーム)

入院患者さんの疾患に伴う苦痛を緩和するために、緩和医療科の医師やサポートチームの看護師・コメディカルとともに担当医師や看護師に助言を行います。また、緩和ケアリンクナースを各部署に任命し、苦痛を抱える患者さんに対して速やかに介入できるようにしています。緩和ケア認定看護師が中心となって看護師の緩和に関する教育や看護相談を行っています。

栄養サポートチーム(摂食嚥下サポートチーム)

低栄養の入院患者さんを抽出し、栄養改善について看護師や診療科に助言を行うチームです。栄養サポートリンクナースを各部署に任命し、低栄養の患者さんをモニタリングすることで、速やかに栄養サポートチームに相談し助言が受けられるようにしています。低栄養の原因として嚥下障害のある患者さんには、言語聴覚士も含めた摂食嚥下サポートチームが介入し、嚥下の課題を解決しています。

感染対策チーム

院内には様々な感染症の患者さんがいらっしゃいます。そのため普段から感染対策に関する問題点の把握、改善、教育などを行う必要があります。外来・病棟の環境チェック、個人防護服の着脱研修、手指衛生の遵守率測定など感染対策室の医師や薬剤師と連携して安全な療養環境を提供できるようにします。また、感染対策リンクナースを各部署に任命し、感染症看護専門看護師と看護管理者が中心となって各部署で感染対策が徹底できるように努めています。

褥瘡予防チーム

入院患者さんを対象に皮膚・排泄ケア認定看護師が中心となって皮膚科の医師やコメディカルとともに病棟ラウンドを行い、褥瘡患者のケアや予防、担当医師や看護師へのケアについての助言を行います。褥瘡リンクナースを各部署に任命することで、褥瘡発生時は速やかにチームに相談できるよう体制を整えています。また褥瘡予防に関するケアの確立や皮膚ケアに関する看護師への教育も行っています。

人工呼吸器サポートチーム

安全に人工呼吸器が管理できているか、患者さんへの負担が最小限であるか、治療が効果的に行われているかなど急性・重症患者看護専門看護師が中心となって、呼吸器内科の医師とともにラウンドし、助言します。また、看護師が人工呼吸器に対する知識が得られるよう、勉強会の開催や研修会の案内なども行います。

EDUCATION

教育・研修体制

スペシャリスト

院内には専門看護師・認定看護師をはじめ、専門知識を生かして活動するナースが多くいます。患者さんに質の高いケアを提供するとともに、現場のスタッフからの相談や教育活動にも取り組み、知識や技術の向上を目指しています。



主な活動

- 専門分野における高度な看護実践を直接、患者さんに提供
- 現場のナースや多職種からの相談対応（コンサルテーション）、アドバイス、調整
- 勉強会や講演会を企画、開催し、ナースや他の医療者に知識を伝達
- 多職種と協働した組織横断活動の、中心的役割
- 専門外来の担当
- 研究、学会発表
- スペシャリストを目指す後進の育成

Specialist

がん領域

当院はがん診療連携拠点病院です。私たちスペシャリストナースは、がん領域での複雑で困難な現象に対して、専門的知識・技術を生かして取り組み、院内はもちろんのこと、地域のがん医療・ケアの向上を目指して、活動しています。

- がん看護専門看護師
- 緩和ケア認定看護師
- がん化学療法看護認定看護師

Specialist

慢性期・急性期

慢性疾患の患者さん、周手術期やクリティカルな状況にある患者さんに対し、専門的知識・技術を生かした高度看護実践を提供しています。また現場のジェネラリストナースが急性期・慢性期看護に関する問題を解決できるよう、様々な形で支援しています。

- 慢性疾患看護専門看護師
- 精神看護専門看護師
- 老人看護専門看護師
- 急性・重症患者看護専門看護師
- 皮膚・排泄ケア認定看護師
- 透析看護認定看護師

Specialist

感染対策

感染対策は病院全体にとって重要な課題です。看護部のみならず、関連するすべての部門と連携をとりながら、感染対策の実践、教育、コンサルテーション、疫学調査、研究活動等を行っています。

- インфекションコントロールナース（感染制御学博士課程修了）
- 感染症看護専門看護師
- 感染管理認定看護師

WELFARE

福利厚生

職員が心身ともに健康に、安心していきいきと仕事に取り組める環境を整備しています。オンの日は、やりがいをもって仕事にまい進。オフの日はしっかりリフレッシュし、仕事もプライベートも充実した日々を過ごしてください。

01

全国の福利厚生施設が利用可能

KKR®(国家公務員共済組合連合会)ホテルズ&リゾートの施設が全国に展開されており、国家公務員共済組合員料金が適用されます。宿泊、レジャー、婚礼、宴会に幅広く利用できます。



KKR ホテル東京

03

国内外の文献も利用可能な図書室

国家公務員共済組合連合会の中央図書室が、本院建物内にあります。分院もオンラインでつながっています。看護や医学に関する、国内外の数多くの文献が、オンラインで閲覧可能です。



中央図書室

02

快適に過ごせる看護師宿舎

近隣にワンルームマンションタイプの宿舎を完備。オートロック式の玄関、管理人24時間常駐だから、セキュリティ面は安心。完全個室でプライバシーを保ちつつ、談話室などの共有スペースで同僚との交流も楽しめます。



寮室内

宿舎				
所属	宿舎名	宿舎費	定員/面積	通勤
本院	コーポラス葦手	38,000円	1名/18㎡	4分(徒歩)
	コーポラス麻布			30分(電車/徒歩)
分院	コーポラスすずかけ			5分(徒歩)

※全施設ワンルームマンションタイプ
(ユニットバス・トイレ・キッチン・エアコン・シングルベッド・机付)

04

育児との両立をサポートする院内保育所

子供を持つ職員が安心して働けるよう、院内保育所を設けています。月極と一時利用、夜勤時の夜間保育も行っていきます。子供たちにとっても、親御さんがすぐ近くにいるから安心です。



院内保育所

RECRUIT

採用情報

説明会・インターンシップ・採用試験日程

看護職員・夜勤専門看護職員を目指す方へ

採用試験

応募に関する詳細は、当院看護部ホームページをご確認ください。

日程			会場
第1回		4月23日(土)	虎の門病院 本院
第2回	2022年	5月3日(火)	
第3回		5月14日(土)	

病院説明会



日程			会場
第1回	2021年	11月6日(土)	WEB開催
第2回	2022年	2月5日(土)	
第3回	2022年	3月19日(土)	

※応募者多数の場合は、希望の試験日で受験いただけない場合もございますので予めご了承ください。

ACCESS

交通アクセス

■ 本院周辺マップ

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2丁目2番2号
TEL:03-3588-1111(代)



- 銀座線「虎ノ門」駅 出口3より 徒歩6分
- 日比谷線「虎ノ門ヒルズ」駅 出口A2より 徒歩3分

■ 分院周辺マップ

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1丁目3番1号
TEL:044-877-5111(代)



- 東急田園都市線「梶ヶ谷」駅より 徒歩10分
- 東急田園都市線「宮崎台」駅より 東急バス「虎の門病院分院」行き5分

